



学校法人山口高川学園 高川学園中学・高等学校

科学部カメ班

山口県防府市大字台道3635番地

特定外来種アカミミガメ・外来種クサガメとチュウゴクスッポンから、固有種ニホンイシガメと里山の生態系を守る研究活動



第9回中国大会で発表したオオサンショウウオ班、2024日本自然保護大賞を受賞

水は地球生命の源である。科学部では、環境保全の基幹テーマを「水」とし、各班で研究テーマを決めて活動している。

今年はカメ班が、これまでの研究内容をSDGsの観点から発表する。淡水カメの研究は、本校が現住所に移転する前の2002年からスタートした山口県の里山における研究である。特定外来種のアカミミガメが、絶滅危惧種ベッコウトンボの天敵であると分かり、分布と生態を調べたのがきっかけであった。その後、環境省の基準が変わりアカミミガメが特定外来種（条件付特定外来生物）、クサガメ・チュウゴクスッポンが外来種、固有種は絶滅危惧種ニホンイシガメとニホンスッポンの2種となった。

法令によりアカミミガメは野外に放流できないため、調査中の捕獲や保護によりカメプールは過密化してきた。しかし、殺処分には抵抗があるため、JSPCAのネコ不妊去勢手術事業を参考にアカミミガメでの可能性についても研究中である。